

久永 日記

大府市の日本共産党・久永かずえ市議会議員が、折々の思いを綴ります。「日本共産党大府東後援会」のニュース（年に4回発行）に掲載しています。ご希望の方には「後援会ニュース」をお届けします。ぜひ、ご覧ください。

▽以下は、2019年の10月に発行された「後援会ニュース・2019年秋号」に掲載したものです。

誰もが自由に移動できる街づくりへ

9月市議会も全力投球で

内容も盛りだくさんの9月市議会が終わりました。ギリギリで切り盛りしている中、長女は二回連続の骨折、長男は入試と忙しさに追い打ちをかけてくれます。忙しいときには何かと重なるものです。



先日、もうすぐ76歳の母が「杖がほしい」と言うので、初めて介護用品のお店に行きました。お店の方のお話だと、介護申請をしてケアマネージャーが本人にとって必要と認めた介護用品であれば、安く買う、または借りることができるようです。介護申請には約一カ月かかるため早めの手続きが必要です。

「なくしたり忘れてたりと思うので名前は書いておいた方がいいですよね?」と尋ねると、なんとその場で名前シールを作成。使う人への寄り添う姿勢に感動しました。すぐに使い始めて一カ月が過ぎましたが、「母」も「杖」も無事に帰ってきています。

杖について利用していた「ふれあいバス」。今回の改正で最寄りの停留所がなくなりました。いまは30分かけて停留所まで歩き、それから一時間バスに乗って大府駅まで出かけています。他に交通手段がなく、歩くのも大変な高齢者の立場での「バス路線改正」だったのでしょうか? 引き続き「改善・充実」を働き掛けていきたいと思えます。

